

スクランブル

奈良県 天理市商工会

国内初の学生フェスタ

天理で「雅楽の祭典」開く

8月20日(土)、21日(日)の両日、天理市商工会が地域おこしの一環として主催する第1回全国学生フェスティバルが同市川原城町の市民会館で始まった。

これは、市独自の観光資源活用を目指す同市商工会(上田光一郎会長)が、千数百年の昔からわが国に伝わる雅楽を取り上げ、全国各地で守り発展させてきた若き担い手グループ15団体を一堂に招き、日頃の成果を発表し合い、交流をめざそうとするもの。

雅楽は、笙、横笛などの管絃楽器、鼓、太鼓などの演奏と舞楽から構成され、世界で最も長い歴史を有する音楽の一形態。これまで公家や大寺社を中心に伝承され、ストーリー性が少ないため、一般庶民にとってなじみの薄い存在でしかなかった。

この笙(しょう)の演奏一つをとりあげても、実際に聞いてみると、私たちの魂に溶け込むような響きがあり、すばらしいもの。

この日、午後1時半から始まった祭典は、主催者の上田会長の「今回の祭典を機に、雅楽の今後一層の発展に寄与していきたい」との挨拶、南市長の祝辞に続き、演奏トップは天理大学雅楽部による舞楽「太平楽」で、濃厚ですばらしい感動を与えてくれた。

愛知県岡崎市内の小中学生による長慶子や北海道小樽雅楽会(小・中学生)4人の迦陵頻(びん)は、子供のかわいらしさと極楽鳥の舞いの素早さを演じ、見事な出来であった。

このあと、兵庫県の胡蝶の会、大阪音楽大学雅学部や、和歌山雅楽会、新潟県月影雅楽保存会、市内雅楽翠篁会ジュニアの五団体が次々と出演。翌日も7団体が演じた。

今回の祭典実行委員会最高顧問で元宮内庁楽部首席楽長の東儀俊美氏は、「今回の催しは、雅楽の歴史の中でも画期的なこと。特に雅楽を志す若い人たちが一堂に集まることは、目標となり、励みになる」と語った。

将来、天理の町は、雅楽を志す人たちの“甲子園”になるかもしれない。



栃木県 塩原商工会

お土産は地元産で安心を

推奨品認定事業で販路拡大も

昨年、土産店マップを作成し、地元産土産の掘り起こしを進めている塩原商工会では、このほど地元産の土産産品を推奨品として認定する推奨事業を始めた。地元産の土産産品を普及させ、関連産業の活性化を図るのがねらいで、1年間展開する予定。

塩原地区産の材料を使うか地区内で加工している食品、民芸品などが対象で、審査会の審査を経て商工会の認定を受けると、推奨状が交付され、商工会名入りの推奨マーク入りステッカーや値札を使用できる。ステッカーを集めた人には、観光スポットの入場券プレゼントもある。

6月の推奨品受付には菓子・湯の花・そば粉など25品目の応募があり、7月の審査会では商工会や各種団体の代表ら10人が審査を行って、25点全点が認定された。特別賞は栄太楼「柚子(ゆず)ようかん」、今井屋製菓「温泉まんぢう」、小松屋商店「朝倉でんぶ」。

「公共の観光施設などにも推奨品コーナー設置を呼びかけ、販路拡大をめざします。地元の“売り”を作り出し、観光客も安心できる地元産のお土産をPRしていきたい」と商工会では期待している。



熊本県 上益城郡内商工会青年部

高齢者対象にボランティア

職種や特技を生かして無料奉仕

商工会青年部サービス部会(飯星英二部会長)では、昨年度に引き続き、各会員の職業や特技などを生かして高齢者の生活を支援しようと、高齢者宅を回ってボランティア活動を行った。

山間部にある森田カズコさん宅では、理容師・岩見つかなさんが森田さんの散髪をするそばで、クリーニング店経営・甲斐良二さんが三味線を弾いて「おてもやん」「お座敷小唄」などを歌い、他のメンバーが浴室の清掃や草むしりを行い、最後に町内温泉施設提供のお湯を浴槽にプレゼント。

「自分ではできないことも多いため、ありがたいし、とても楽しい」と昨年度の活動が好評を博し、すでに二十数件のボランティア派遣依頼が寄せられている。

飯星部会長は「会員のやる気は十分。1軒でも多く回って、お年寄りたちのお役に立ちたい」と意欲を見せている。



山形県 最上町商工会女性部

シェフを招いて料理講習会

おいしい「最上のアスパラ」をPR

最上町では、足腰の強い農業を確立しようと2004年度からアスパラガスの一大生産地化に取り組んでいるが、「最上のアスパラ」のおいしい料理法をPRし、消費拡大につなげるため、このほど商工会女性部(菊池和子部長)が山形グランドホテルの安達茂取締役総料理長を招いて、「アスパラガス料理講習会」を開催した。

ガーリックやオリーブを混ぜたパン粉を載せてオーブンで焼

く「南仏風ベーコン巻き」、トマトやアンチョビなどと炒めた「プッタネスカ」、「ポタージュスープ」や「豚バラ肉巻き揚げ」などのメニューに取り組む女性部メンバーに、安達総料理長は「火が入りやすいので、細かいアスパラは30秒程度ゆでれば十分」「アスパラは和洋中華のいずれにも合う」とアドバイス。

「一流シェフに教えてもらい、おいしさを最大限に引き出すコツがわかった」「友達にも教えてあげたい」などと、参加者たちはアスパラのおいしさと講習会の成果を満喫していた。



滋賀県 瀬田商工会

まちづくり構想を見直し

まちの歴史・自然・文化を生かそう

瀬田商工会は、大津市瀬田地区の活性化をめざし、今年から3年かけて新たなまちづくり計画を立て、順次事業化していく取り組みを始めた。

1995年に瀬田まちづくり推進協議会とともに策定したまちづくり構想が、時代の変化に十分対応できなくなったため、見直すことになったもので、若者の視点も反映させようと龍谷大学や滋賀医科大学の学生にも協力を呼びかけ、アンケートなどを実施していく。

瀬田地区を3つの地区に分け1年ずつ取り組む予定で、今年にはJR瀬田駅前を中心とする県立図書館などに至る文化ゾー

ン帯について検討する。商工会の呼びかけで商店主や自治連合会が「瀬田学園通り活性化研究会」をつくり、先進地視察、地域の課題を洗い出し、計画を策定する。

次代を担う子供たちにも参加してもらい、地元に必要な商店について意見を聞いたりする予定で、まず第1弾として、8月11日、子供たちに地元の伝統産業を知ってもらおうと、紙すき体験教室を開催した。

商工会商業部の北井俊夫部会長は「瀬田地区のそれぞれ異なる歴史・自然・文化の特徴を生かし、地元の活性化を軸に、新しいまちづくりに取り組みたい」としている。



三重県 南勢町商工会観光部会

五ヶ所湾をヨットでツアー

美しいリアス式海岸をセーリング

8月7日～14日、南勢町商工会(田中喜一郎会長)観光部会は、リアス式海岸をもつ五ヶ所湾の美しさをもっと知ってもらおうと、町観光協会と協力して、ヨットの体験乗船ツアーを企画した。



町内の志摩ヨットハーバーを発着点とし、同ハーバーの寺田社長がヨットを操船。11日には、親子連れ7人がセーリングを楽しんだ。

真珠養殖のいかだや定置網が設置された港から約2時間の周航で、岬や島、湾の向こうに連なる山並みなど沖から眺める景色に、一家3人で乗船した多気郡勢和村の野呂洋子さんは「さわやかな海風の中で、波の音が聞こえるだけの静かな時間を過ごせました」と話していた。

香川県 東かがわ市商工会

観光アカデミーを開催

魅力あるガイドで町を再発見

このほど、県内市町の観光担当者、各商工会メンバーでつくる「わがかがわ観光推進協議会」の観光アカデミーが東かがわ市の讃州井筒屋敷で開かれた。地域で埋もれた



観光資源を発掘し、効果的な情報発信や企画力を高めて地域活性化につなげるため、初めて開催されたもの。

市内引田の落ち着いた古い町並みを見学した参加者は、まちの魅力や手直しすべき点を探り、観光客をひきつけるガイドの仕方などを意見交換した。大分県豊後高田市の「昭和のまちづくり」に携わったカフェのオーナー・野崎智子さんは、講演で「ガイドの魅力は人間力。まちの魅力を自分の言葉で伝えようとすれば、ここにしかないものは必ず見つかる。そうでなければ、観光客は2度と訪れてくれない」と強調した。

このアカデミーの成果をふまえて、10月には観光ガイドの台本を作り、引田の町並みで実際にガイドツアーを実施する。

岩手県 雫石商工会

軽トラ市を開催

TMOでにぎわいづくり

雫石商工会(加藤完会長)は、「シャッター通り」といわれる商店街に客足とにぎわいを取り戻そうと、7月31日、「第1回しずくいし軽トラック市」を開いた。

この市(いち)は、まちづくり機関(TMO)である商工会が初めて企画したもので、幅7mの通りの片側車線を利用して開かれた。トマトやキャベツ、ネギなどの地場農産物や花、衣類、食器、リサイクル品、絵画まで販売する軽トラック約60台がずらりと並ぶ壮観となった。

オープニングセレモニーには商店街をぐるりと囲んだ長さ1キロのテープカットに700人が参加し、その後、町内外の大勢の買物客がトラックの荷台から販売するユニークな市を楽しんだ。

「出店者と直接話せておもしろい」「種類が多くて、見て歩くだけで楽しい」「とにかく新鮮で安い」との好評を受け、高橋芳美事務局長は「予想以上に人が集まった。今年中に知名度をあげて定着させたい」と抱負を語っている。

軽トラ市は、これからは毎月第3日曜日などに開催していく予定。



東京都 あきる野商工会建設業部会

リフォーム詐欺にご用心!

良心的業者の名簿を作成

あきる野商工会建設業部会(堀部龍夫部会長)は、高齢者をねらった悪質な住宅リフォームなどの詐欺が広がっていることから、良心的で安心して契約できる業者を紹介しようと『安心の住宅改修業者名簿』を作成し、無料で配付することとした。

この冊子はA4版14頁で、福祉住環境コーディネーター3級以上の有資格者が勤務している、建設業法に基づく許可を受けている、請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険(PL保険)・労働保険などに加入しているといった基準をもとに、その基準をクリアした13社を選び、会社のセールスポイントや企業信条など概要についても掲載した。

改修の施行例もイラスト入りでわかりやすく説明し、悪質リフォーム業者の手口を解説。「ご用心!悪徳業者が介護保険を口実に高齢者をねらっています」と注意を呼びかけ、クーリングオフや消費者契約法による契約解除などの措置も併せて紹介している。

